

## 「なでしこ銘柄」及び「準なでしこ」の選定に寄せて

安倍内閣では、政権発足直後から、女性活躍の旗を高く掲げ、女性が意欲を持って働くことができる環境整備に取り組んできました。その結果、女性の就業者数は政権発足から6年間で280万人以上増加し、M字カーブも確実に解消に向かっています。

一方で、上場企業の役員に占める女性の割合は5.2%にとどまっております。

SDGs や ESG が世界で支持されるなど、企業への期待が多様化していく中で、企業が中長期的に生き残っていくためには、女性を含む多様な人材の能力や視点を経営に取り込み、社会の多様なニーズに応えていくことが不可欠です。

今年度の「なでしこ銘柄」の選定に当たっては、女性取締役を複数登用している企業をより高く評価いたしました。より多くの女性が企業の意思決定に関わり、令和の時代の新たなロールモデルとして活躍していくことが重要です。女性の取締役への登用が進むことにより、女性が活躍しやすい環境作りが一層進展していく。そして、更なる女性の活躍が、企業の経営力を高めていく。こうした好循環が、より多くの企業において創出されていくことを期待します。

企業の皆様におかれましては、今後より一層、自社における女性活躍を強力に推進し、その取組や成果を内外に積極的に発信されるとともに、男性社員の育児休業の取得の促進や、女性の就業調整の要因とも指摘されている配偶者手当の在り方について改めて点検いただくなど、日本社会全体の女性活躍を推進する取組につきましても、前向きな対応をお願いいたします。

日本経済をより一層元気にしていくために、官民が一体となって、取組の「輪」を広げてまいりたいと思います。

「なでしこ銘柄」を目指して、より多くの企業が更なる取組を推進していくことを期待します。

令和2年3月3日

経済産業大臣 梶山弘志